

秋田県放射線技師会として初の試みでもある Web 研修会の皮切りとして、8月29日に研修センターにおいて令和2年度放射線安全管理セミナーが開催されました。研修センターでは3密をさけ、感染に配慮し十分な換気の元で行われました。今回は50名の募集に対し、研修センターから講演の発信を行いました。定員が満員となるなど新たな研修スタイルに対する需要の移行が感じられました。初めての開催様式ということもあり、スムーズにいかない部分もあったかとは思いますが、大きなトラブルもなく行えたことは、関係方面の皆様がこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

今回の研修内容ですが、診断参考レベルの更新に伴い広く会員に周知するとともに、診療用放射線の安全管理に関わる施行規則の改正に伴う管理業務に役立てていただけるよう、特にCT、核医学、血管撮影に関してエキスパートの方々にご登壇いただきました。DRLs2015と比べてどのように変わったか、新しい区分や概念に対してどのように対応したらよいのかなど、詳しく解説いただくとともに、線量管理システムのない施設においてどのように対応していけばよいのかなども助言いただけたことで、大きな施設だけでなく、小規模施設で勤務される会員の方へも寄与できたのではないかと考えられます。またディスカッションにおいても、解釈に不安が残る部分を丁寧に解説いただいたことでより理解が深まったように感じられます。各演者の方々におかれましてはご協力いただき誠にありがとうございました。

コロナ禍もまだまだ落ち着く兆しが見えませんが、その中で新しい様式に移行し事業展開が果たせたことは大きな一歩であるとともに、これからの展開の再構築を考える良い機会になったことと思います。DRLs2020では今回お伝えできなかった重要な内容が多く残っておりますので引き続きお伝えできるよう企画いたします。今後とも、会員を始め県民の皆様の手助けとなるよう鋭意工夫し取り組んで参りたいと思います。

(文責:千葉)



